

# 消防士

消防局  
青葉消防署  
警防課

**松永 理佐**

仙台市出身  
令和元年度採用

火災発生時の消火活動のほか、救助活動や救急活動といった災害対応業務、119番通報に対して迅速に対応する指令業務、火災予防のための建築物に対する指導や立入検査を行う予防業務に携わります。部隊編成としては、消火活動を主任務とする警防隊、傷病者を医療機関へ搬送する救急隊、人命救助の最前線で活動する特別消防隊(レスキュー隊)などがあります。また、市民に対する防火意識の普及啓発や、地域での研修・訓練などの取り組みも進めています。



## 一人でも多くの市民の命を救いたい。

松永さんが消防士を目指したきっかけは、中学生の頃に発生した東日本大震災での被災経験でした。「祖母の家が津波で全壊し、その際、懸命に救助活動や救急活動を行う消防士の方々の姿に感銘を受け、憧れを抱きました。消防局は、職員の横のつながりが強く、一人ひとり親身に指導していただける環境が整っているので、消防士として働く上でとても魅力的な職



場だと感じています」。

現在は救急隊員として救急活動に従事している松永さん。人の不幸の現場に立ち会うこともあり、命に関わる仕事として責任の重さを実

感するとともに、「救命できたときの喜びは何にも代えがたい」と、やりがいの大きさを感じています。「女性隊員だから安心できた」という声をいただくこともある反面、やはり体力面で苦労したこともあるそう。救急隊員として、十分なスペースが取れない中で自分よりも体の大きな傷病者を搬送しなければならない場面や、火災現場では防火衣や空気呼吸器を身につけて救助活動に臨むこともあるので、日々体を鍛えておくことが重要だといいます。「そのため、署内にあるトレーニング器具を利用したり、非番のときはランニングを行うなど、日頃から体力向上に努めています」。そんな松永さんの今後の目標は、国家資格である救急救命士の資格を取得すること。「資格があれば救急車内で行える処置が増えるため、より多くの市民の助けになることができます。令和4年度からは救急要請が特に多い日中時間帯に運用する“デイトム救急隊”が導入されるなど、仕事と家庭の両立がしやすい環境の整備が進められているので、それらの活用を視野に入れながら、市民に信頼される救急救命士を目指していきたいと思います」。



## One day Schedule

※24時間勤務の2交替制です。

- 8:30 出勤  
勤務交代、車両・資器材点検
- 9:00 ミーティング、救急現場対応、訓練、事務作業
- 10:00 救急現場対応、訓練、事務作業
- 12:00 休憩(救急現場対応)
- 12:45 救急現場対応、訓練、事務作業
- 17:15 休憩(救急現場対応)
- 18:00 夜間定時研修、救急現場対応、事務作業
- 23:00 仮眠(救急現場対応)
- 6:00 救急現場対応、操縦訓練、車両整備
- 8:30 退勤

※非番や週休があり、毎4週間につき1週間あたり38時間45分の勤務体制です。

## Private

最近大型二輪免許を取得したので、同期や友人とバイクツーリングに出かけます。また、山形県にある山寺など自然が豊富な観光地にプチ旅行し、心と体をリフレッシュさせています。